

おうちde OH! 齋^{とき}

～あなたもお齋^{とき}を
作ってみませんか～

No.
2

打ち豆汁・鮑^{あわび}もどき編

今回は福井でお馴染みの打ち豆やお豆腐といった、大豆^{だいず}を使った精進料理^{しょうじんのようり}を紹介します。大豆は植物性の食品の中でもタンパク質を多く含む食材で“畑の肉”と呼ばれています。大豆の栄養パワーを取り入れて「食」と「健康」をより豊かなものにしましょう。



◆ 打ち豆汁^{うち} 古くから伝わる、報恩講^{ほうおんこう}でおなじみの郷土料理です。「打ち豆」は、自宅でも簡単に作ることができますが、今回は購入したものを使用しています。

◆ 鮑^{あわび}もどき 精進料理の中で見た目や味を似せて調理したものを「もどき料理」といいます。よく知られているのは「雁もどき」です。今回の「鮑もどき」は、しいたけと木綿豆腐を使っています。

レシピは「動画はコチラから!」より視聴できます

第2回

本願寺吉崎別院

寺さんぽ

福井県内の浄土真宗寺院を紹介する「寺さんぽ」!
第2回目は、吉崎御坊御開創550年を迎えた、「本願寺吉崎別院」です。

吉崎別院は、福井県あわら市と石川県加賀市の県境にあります。文明3(1471)年に本願寺第8代蓮如上人^{れんにょしょうにん}が越前吉崎^{おもむ}に赴かれ、通称「御山^{おやま}」と呼ばれる山上に坊舎^{ぼうしゃ}が建てられたことを起源としています。

別院の境内には、豊臣秀吉が京都の本願寺に寄進し、後に移築された「念力門^{ねんりきもん}」があり、本堂隣には蓮如像を安置する「中宗堂^{ちゅうそうどう}」があります。別院から徒歩5分の御山には、「本堂跡」「蓮如上人像」「蓮如上人お腰掛けの石^{れんにょしょうりょうけん}」「本光坊了願のお墓^{きゆうせき}」など旧跡が数多く存在しています。

この吉崎別院を一緒にお散歩してみませんか?



詳しくは「動画はコチラから!」よりご覧いただけます

あしたが見えるたしかなおしえ

アミタ

[A m i t ā]
अमित

2022(令和4)年
NO.16
年1回発行



『蓮如上人 伝絵(吉崎の段)』

本願寺吉崎別院資料館蔵

発行所: 福井教区教務所

〒910-0003 福井市松本4丁目9-21 Tel.0776-23-2507

発行者: 御同朋の社会をめざす運動 福井教区委員会

気づき

龍川組賢勝寺住職
本願寺派布教使

岸 本 慈 一

自坊の境内地で認定こども園を運営しています。ある年の年長組さんでした。外遊びが終わり園内に入ろうとしている時、数人が本堂の前で言い争っています。

「せっかく捕まえたんやで、ずっともっていたい。逃がしたくない。」

と、ひとりの子がトンボを手に持ちながら言っています。

「かわいそうやし、逃がしてあげなあかんよ。」と、別の子が言います。

年長さんのクラスでは育てない生きものは逃がしてあげる約束をしています。その子は逃がそうとしません。その気持ちはすごくよくわかります。私も幼い頃、クロアゲハやシオカラトンボ等、珍しい虫を捕まえたら皆に自慢したかったことを思い出していると、別の子がこう言いました。

「ずっと持っていると、疲れて死んでしまうよ。かわいそうやよ。みんな虫さんも僕らと同じ神様の子どもなんやから大事にせなあかんのやよ。」



わずか5歳の子がそんなことを言うとは驚きました。お寺のこども園ですから「仏さま」と言ってほしかったところですが、虫もひとつのいのちとして等しくみる心が育まれていることを嬉しく思うとともに、子どもの姿から改めて気づかされることがありました。



今年の夏、境内地にハチがたくさん飛んでいました。本堂や庫裡、門の屋根にハチの巣ができ、中にはスズメバチの巣もありました。子ども達が刺されてはいけませんので普段から見つけ次第駆除をしています。

ひとつひとつのいのちを分け隔てることなく等しく見てくださる仏さまが、阿弥陀如来と聞かせていただいております。その教えを聞きながらも、自らを正当化し「仕方がない」と片付けてしまう私の姿がありました。

仏さまに照らされるとき、どこまでも煩悩に振り回され、偏見でものごとを捉える私の姿が知らされます。

しかし、知らされた私の姿を「仕方がない」とするのではなく、仏さまの教えを鏡として省みる日々を生かさせていただくことが、仏さまの教えをよりどころとして生きていくことであつたと、改めて気づかされることでありました。



動画はコチラから！

QRコードから動画をご覧ください

表紙

蓮如上人伝絵



法話

気づき



寺さんぽ

本願寺吉崎別院



おうちde OH! 斎

打ち豆汁編



鮑もどき編



【親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要のご案内】



親鸞聖人 御誕生
850
立教開宗
800

ご参拝方法や法要の詳細は
QRコードから



【「子どもたちの笑顔のために募金」のお願い】



海外の貧困に苦しむ子どもたち、子ども食堂、学習支援、児童養護施設等を支援

【郵便振替】00940-8-282766
(加入者名) 子どもたちの笑顔のために募金
※通信欄に寄付者の本願寺新報掲載の可否を明記
【銀行振込】、【キャッシュレス募金】の
詳細はQRコードから

